



最近たてつけに友人、知人が弾圧される事件が起った。不当な逮捕、拘留がどの件でもかけられた。ガサ入れ、尾行がしつこく続けられている。こんなとき、いつも腹立たしく思うのは周囲の人たちの反応だ。捕まる位だから、尾行される位だから、どうせ何かやっつんだらう。大抵の人はそうきをつけてかかる。いろんな運動に関わっている人も例外ではない。普段は体制・権力に批判的な人も、そのとたん権力側の判断にすりよって被弾圧者を見るようになる。弾圧される方も分裂している。どうして自分だけが、などとグチつけてしまう。警官も人間だから話せばわかる、と決める。警官も人間だから話せばわかる。明らかに尾行されているのに、私なんか尾行しても意味ないからそんなことはありえない、と、自分に都合よく勝手に解釈して現実を見ない人も多い。

▼一人々々の弾圧は人民全体への弾圧の一部だ。この単純明快なことが改めて想起される。新年がきた。

(三)

一九八二年は明らかに不況の年となるだろう。好況産業といわれる自動車、電機業界の抱える関連産業のすそ野は非常に広い。また主婦の内職業の多くもその関連産業である。この自動車・電機産業の、国内需要はすでに頭打ちであり、国内取支だけみれば、赤字になっているところはない。すなわち、輸出が全面ストップされれば生き残れる企業はないという事である。▼生産現場にロボットを導入して、人員削減を行ない、いかに合理化をしようとする、その合理化の前提として、生産量を確保したうえで、コストを切り下げるという発想からは、もう限界がきているのである。アメリカ、ヨーロッパの日本製品排除の動きは、強まる一方である。八二年は、自動車、電機産業が不況産業に転落する元年となる。そして総評、同盟いずれの労働運動も、労働者の心をつかむ事は絶対にできない。▼日本の基幹産業がけりくちでの労働運動を我々が切り拓くのか否かが問われるだろう。(名)

先日、私の友人数名が根も葉もない容疑で逮捕された。公安警察や検事は執ように自分を追ったが誰一人、何もしゃべらないまま釈放された。▼公安警察は仲間の交友関係、家族関係、日常生活から、性格までそれこそ実に丹念に調べあげていたそう。そして彼らは仲間達の事を何から何まで知りつくしたつもりになっていたのだ。▼だが公安警察にはけっして解からない重大な秘密があった。それは仲間達の心だ。なぜ個人の利害を越えて運動に参加するのか、なぜ仲間を信頼しあうのか——金と権力でしか人が動かないと信じている公安警察にこの疑問が解けるはずはなかった。▼お前は組織に利用されただけだ、○○だけが甘い汁を吸っている——この古びた公安の口口を見て、逮捕された仲間はずっと持ち、警察側の混乱を見抜く事ができたという。▼友人が教えてくれた今僕らに必要なのは「利」ではなく「義」を持って集まる仲間だ。実に適切な表現だ。(奈)

編集部
座談会

崩れ落ちるタテの秩序



「崩壊する既成秩序」の象徴、総評臨時大会



釜ヶ崎労働者は自力更生めざし、毎日闘いつづけている

自前の運動が強い タテでカズ集めるより

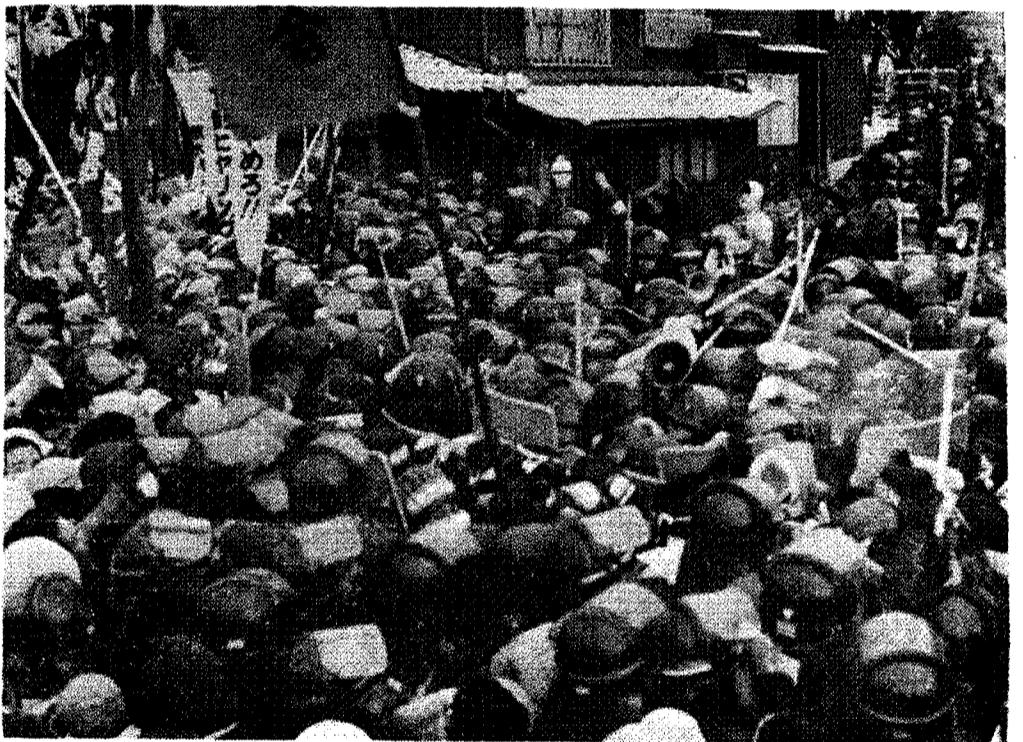
〇 総評大会で横ばい代表に
は、小さい組織の代表に
して一相場作りに功敵で
ないような組織が何をい
か」と切りかえしている。
こんな論理が労働運動の

る反省から出ている。前の運動だと強調してい
自分達が必要とするものを。そういう組合の横ばい
要求し、戦術は自分達で考ねる必要がある。一人は
え、自分たちの力で獲る日ちでいいとは思っている
のつながりを求めている。

ヨコにつながる 少集団でも多数派に

A 労働統一を促す根底
には、職場の労働者の意識
の変化が、それに現行の労働
運動の指導的理論、組織
運動の作りの方向などが
いていなくなっていること
があると思う。

が、パート労働者に企業意
識は全然ない。しかし彼女
たちは生産現場で大きな比
重をしめるようになってい
るが、彼女たちをどうえき
合部も危機感をもって
るので組織化に熱心にな
る。



地方の自立を原泉、各地の公用アリアンと主民・労働者の怒号に振り回され

1 (本紙八〇年七月二十
五日号)のMさんは、職場
で頭張れというの若い労働
者に通用しないという。
というのはいまの労働の質
を考えると反動的なことを
説教したことになる。職場
を離れても仲間といられる
ような関係を作る場として
地域に求めた。

あるかのように説教する。
これは体制の側の論理だ。
ここに労働者の組合離れが
おきる原因がある。

インパクト 14 700円
大学ファシヨ化への構図
第一 次東大闘争の経過と問題提起
第二 次東大闘争の経過と問題提起
第三 次東大闘争の経過と問題提起
第四 次東大闘争の経過と問題提起
第五 次東大闘争の経過と問題提起
第六 次東大闘争の経過と問題提起
第七 次東大闘争の経過と問題提起
第八 次東大闘争の経過と問題提起
第九 次東大闘争の経過と問題提起
第十 次東大闘争の経過と問題提起
伊ザラ書房

〇 全連組合員のSさん
は執行委員で、執行部では
仕事で面白くないとか、職
場の人間関係を何とかしよ
うというのを聞いても誰
も聞いてくれない。自分
は間違いない少数派だと思
っていた。ところが文化祭
をやったことになって、組合
とは全く関係ない形で実行
委員が職場から選ばれて
きた。そこで話したら、自分
の意見に賛成してくる人が
非常に多かった。Sさんは
機関を離れたら多数派だ。
指導者として運動は大量に
こあるべきだと示さなけ
ればならないという発想で
は手も足もでないことにな
る。

韓国に自由と正義を!
'81 韓国民民主化支援
緊急世界大会の記録
小田実・郭東儀編
四六版上製四三三頁、千五百円
光州決起一周年を期して、韓国現体制の実態を明らかにし、韓国民民主化闘争との連帯を求めると共に、8分科会の討議を通して81年の韓国をめぐる全情況を知る最新情報を網羅した韓国問題必読・必備の一冊。
人民新聞社で取扱い中
発売 新泉社 東京都文京区本郷二一五二一〇
電話 〇三七八二二一六六二
発行 第三書館 東京都渋谷区神宮前四一三〇一六
セントラルアパート 五六三

救援運動の課題

<3>

山中 幸男

十二月八日の毎日新聞「保安処分闘争もいよいよ正気、政府・法務省の刑法改訂案に法改正案が上程される」という記事が、その背景を明らかにしている。この「正」作業が今日、一九八〇年代においていよいよの最大のねらいとしてある。保安処分新設のねらいといふ「治」の最大のねらいとしてある。保安処分新設のねらいといふ「治」の最大のねらいとしてある。保安処分新設のねらいといふ「治」の最大のねらいとしてある。

国会日程阻止を!

保安処分の改悪刑法案

「改」正作業が今日、一九八〇年代においていよいよの最大のねらいとしてある。保安処分新設のねらいといふ「治」の最大のねらいとしてある。保安処分新設のねらいといふ「治」の最大のねらいとしてある。保安処分新設のねらいといふ「治」の最大のねらいとしてある。

現場実力闘争貫徹

広がる争議団共闘体制

福岡地区合同労組

現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。

負けてたまるか!

人民新聞記者の皆さん、現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。現場実力闘争を軸に闘う。

いま全国各地で

抗議文

「連帯」への武力弾圧、貴政府は、去る一二日深夜、ワルンヤに於ける「連帯」マゾフシエ地区本部を...

名古屋越冬に支援カンパを

名古屋越冬に支援カンパを。名古屋越冬に支援カンパを。名古屋越冬に支援カンパを。名古屋越冬に支援カンパを。名古屋越冬に支援カンパを。

第12回釜ヶ崎越冬闘争始まる

第12回釜ヶ崎越冬闘争始まる。第12回釜ヶ崎越冬闘争始まる。第12回釜ヶ崎越冬闘争始まる。第12回釜ヶ崎越冬闘争始まる。第12回釜ヶ崎越冬闘争始まる。

この「連帯」の闘いは、貴政府が推進している社会主義体制が労働者の利益を裏切るものでないことを強く警告し、その変革を迫るものとしてあると理解しております。...

嵐の弾圧荒れ吹き



神戸地裁前で反動判決に抗議の声

土田・日石・ピース缶えん罪事件

甘い予断許されぬ

デッチあげの根拠崩れたが

皆極すでに御存知のことか、毎日相当長時間に及ばない事がありましたらと思っておりますが、十一月十八日、東京地方裁判所刑事第九部、第二四六回公判廷において、増淵利行君、堀秀夫君の土田・日石事件についての自白調書が経緯部分を除いて、証拠能力なしという事で却下されました。

却下理由として(1)連日長時間に及ぶ取調べが行なわれ、供述の任意性に疑いがある(2)別件で起訴された後に作られたもので、証拠能力がない等があげられています。例えば増淵君が初めて土田・日石事件を認める自白をしたという三月十三日付検事調書に対して裁判所は、

「ところで、被告人増淵はアメリカ文化センター事件による逮捕以来四五日間の身柄拘束を受け、前記のとおり、その間、同事件及び第八・九機動隊事件等について一日の休みもなく、

かつ、毎日相当長時間に及ぶ取調べを受け、肉体的、精神的にかなり疲労した状態にあったと認められるが、このような同被告人に對し三月七日以降右のような取調べを行ったものであ

すなわち、その取調べは、翌日以降の取調べにおいて、連日夜遅くまで地下の狭い取調室で、捜査官三名ないし四名が在室し、始めに生々しい被害現場の写真をうつしつけ、日石・土田事件を清算せよと強く迫り、ついに、もし爆弾事件について覚えがあるならば供述する」という趣旨(「記憶に

争議行為そのものを

否定する反動判決

平和台病院労組

平和台病院院長裁判の判決が十二月十八日、神戸地裁で言い渡された。初公判以来十一年を経過し、公判回数も百二十五回を数える長期裁判であった。

判決は、ウソ、デタラメな起訴事実を全面的に認め、たうえ、広委員長と共闘委員のT氏に懲役一年六月、執行猶予三年(求刑、懲役二年)、ほか共闘委員の一名と支援一名に懲役八月と六月、執行猶予二年(同、懲役一年と十月)、残る共闘委員書記長と女子組合員三名に罰金二千五百円(同、懲役三月)としていた。

平和台病院闘争は、七〇年七月の組合結成、スト突入から七六年六月の争議解決に至るまで、二百数十回

争議行為を大巾に制限しようとする権力上層部の圧力が、そのまま表現された判決である。

平和台病院闘争は、経営側が争議責任を認め病院閉鎖、全員解雇を撤回して解決しており、神戸地裁刑事第三部に対して院長、副院長が自らの非を認める上申書を提出している。また、弁護側の証拠、証言、主張は、正確に起訴状の不当性をあばき、無罪であることを立証しているにもかかわらず、それら一切取り入れられず、検察側主張のみを全面的に採用し、「推定」をいたるところに取り入れた判決となっており、検察も感じないような争議をや

ら十二日までの間の司法警察員による前記認定のような取調べの方法がとられていなかったならば、三月十三日における自白はされなかつたと認めるに十分であつて、すなわち、司法警察員による右のような取調べと右自白との間に因果関係があると認められるのである。

と述べています。長い引用になってしまいました。が、自白が任意にされたものではなく強制されたものであることが、明確に判断されています。堀君の自白調書についても同様です。デッチあげ起訴後、八年に及ぶ公判廷の中で、被告・弁護団が主張してきたものがやつと今、一部認められたというわけですが、

しかし今回の決定は増淵君、堀君のみであり、自白調書はまだたくさんありま

であり、裁判官のよく言う「公正さ」などみじんもない。ただ、判決の中では、病院側が高圧的で不当な態度をとったこと、病院側の不当労働行為が組合側を刺激したことなど、その責任の大半が病院側にあることを認めているが、これは、すでに地労委や民事裁判で確認されてきたことであつて、新しい判断など一つもない。

威力業務妨害、住居侵入、不退去、暴力行為等処罰ニ関スル法律違反、器物損壊、建造物損壊、証人威迫、暴行、傷害、公務執行妨害など、あらゆる罪名をデッチあげて争議を弾圧してきたわけだが、今般の判決で特別に注目しなければならぬのは、「証人威迫罪」を有罪としたことである。組合側の門前集會での発言や、日常の抗議行動が院長秘書や一部のボス患者に「不安、困惑の感」をいだかせたと言うのである。経営側が何

れと言ふのだ。

さらに許せないのは、最終弁論の日をいつにするかと話している時に、すでに、検察官と裁判官によって判決の日が決定されていたのであり、また、この時、すでに判決が作成されていたという事だ。

弁護側の証拠、証言を「公正」に判断すれば、十六項目ある起訴事実のうち、半数は確実に無罪となつなければならないものであり、あとの半数は、裁判所が反動的な所であることを考へるべきであつても法律判断において有罪とならうところとが予想された。ところが、今般の判決は、判断においても量刑においても、弁護側の常識を完全に破るものであつた。

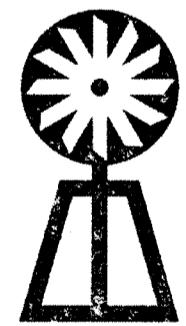
今後は、組合側が勝利するような争議には合法性を認めないといふことなだらうか。(連絡先・神戸市長田区平和台町一丁目一〇の二 平和台病院労働組合)

三塚 歴

たたかひの 日

B2 カラー 地図付2枚組 ￥1,000

歴史の荒波をつらぬき 未来の扉を押しひらけ



絵/丸木位里
 デザイン/粟津 泰
 発行/三塚出版争議連帯労働組合
 協力/三塚芝山連合空港反対同盟

三塚たたかひの歴企画

東京都新宿区丸木町3 駒ビル304 TEL.03 (355) 4320
 三塚出版争議連帯労働組合 TEL.04797 (8) 0100

（前林則子、土田・日石・ピース缶えん罪事件被告）

新刊紹介

韓国に自由と正義を

81韓国民主化支援緊急世界大会

小田実・郭東儀編

光州決起一周年を期して「韓国民主化支援緊急世界大会」が、八月の全の報告、発言を収録した「韓国に自由と正義を」を出版した。

本書は、この世界大会の全報告を掲載された論文をベースに大巾に加工、修正され、新たな論文も加えられている。総論、政治、経済、軍事、労働運動、原子力、ゆづの構造、日常生活、在日朝鮮人、さらに資料、年表と、中広い調査活動の集大成になっている。

「なによりも日韓関係の調査の主体は「日本」にあつた。新聞やマスコミなどとりあげられる日韓関係の表裏の陰に正直にまで深く透視している「韓国」関係の発見が、この調査活動の最大の成果」といふ本書に学ぶものは多い。

（社会評論社 一六〇〇円）

連絡先、須坂市東横町、信濃太我々自身のものとしてとらえていかなければならない。つまり、直接的な日本治主義、そしてアメリカ帝國主義に対する闘いの指向性がなければならぬのだ。(クワヌ・トウレ「カーマイケル」アメリカ・黒人解放運動家)

「韓国民主化運動に対するより深い理解とそれに基づく連帯を形する上で役立つこと」を願って本書は刊行された。必読の書である。

（第三書館 一五〇〇円）

日韓関係を撃つ

玄海をこえる民衆運送のため

山口亮夫・佐藤進也監修

市民の手で日韓ゆづをたたく調査運動

あなたのいま着ている繊維製品に、スリパーで一寸安いと買ってきた衣料品に「韓国製」のマークは付いていませんか？

「日に日韓関係といっても、政治・経済・軍事といった分野にとどまらず労働運動やわたしたちの日常生活まで広く深く掘りかかっている。文字通り「ライオン」から「サイル」までなのだ」

金大中氏の致事件、ソウル地下鉄騒動、日韓大陸間開港をめぐる果敢なたたかひ、日韓の黒いゆづ事件が明らかになり大きな問題となつた一九七五年に「市民の手で日韓ゆづをたたく調査運動」は発足した。働きたつ真の韓国民衆運送をめざしてたたかひ続けてきた無名の人びとの共同作業として「日韓ゆづ」という小冊子が八月まで刊行された。

本書はこの「日韓調査」各号に掲載された論文をベースに大巾に加工、修正され、新たな論文も加えられている。総論、政治、経済、軍事、労働運動、原子力、ゆづの構造、日常生活、在日朝鮮人、さらに資料、年表と、中広い調査活動の集大成になっている。

「なによりも日韓関係の調査の主体は「日本」にあつた。新聞やマスコミなどとりあげられる日韓関係の表裏の陰に正直にまで深く透視している「韓国」関係の発見が、この調査活動の最大の成果」といふ本書に学ぶものは多い。

（社会評論社 一六〇〇円）



反核運動こそ真の愛国運動

大阪 相原三郎

現代はどのような時代か。資本主義体制の全般的危機が深化しつつある。同時に、社会主義体制

正義と真理

山田地也(ポロ)

朝鮮 台湾 中国
そして東南アジアと太平洋
軍隊を使って殺しまくった
日帝権力と戦犯天皇は
正義の名のもとに葬らねばならない
真理の名のもとに滅びねばならない

アジヤ アフリカ ラテンアメリカ
そして中東と太平洋
同胞たちの生血を吸って肥え太る
日帝ブルジョアと買弁資本は
正義の名のもとに葬らねばならない
真理の名のもとに滅びねばならない

アイヌ 奄美 沖縄
そして日朝鮮人と被差別部落
国内植民地とその犠牲の上に成立する
日帝市民社会とそのアチブル根柢は
正義の名のもとに葬らねばならない
真理の名のもとに滅びねばならない

アメリカ カナダ オーストラリア
そして日本にニュージランド
母なる太平洋を死に追いやる
環太平洋原子力帝国と核ファシスト共は
正義の名のもとに葬らねばならない
真理の名のもとに滅びねばならない

侵略 掠奪 凌辱
そして汚染とジェノサイド
強盗民族日本人として育った
我々の民族意識と繁栄は
正義の名のもとに葬らねばならない
真理の名のもとに滅びねばならない
ギャーティ ギャーティ パラギャーティ
パラソギャーティ ボジソワカ

の全般的危機も深化しつつある異常な世界的危機の時代であり、危機打開の弁証法の解明の時代と言えないことはないのがある。

現代はどのような時代か。資本主義体制の全般的危機が深化しつつある。同時に、社会主義体制

びに警察、刑務所をフルに使って支配しやすいつつある異常な世界的危機の時代であり、危機打開の弁証法の解明の時代と言えないことはないのがある。

生への執着心がある。死めがイヤなのは、みな同じで、そこには、支配者、被支配者の区別はない。そのようなことは全く無関係である。

て許せない!!
日帝に対して牙を剥いて闘いかかり、国家権力による「殺人」行為を徹底的に非難していることが、オレに生へのたしかな手がたえとしてくれてい

この三年間に「何かをつかむことができたか」と自問すると不安になる。「支配階級が後押ししている」常識の基礎を破壊しようという意識

権力の殺人 絶対許せない

東柳 曹 正一

第二次世界大戦後、各国の識者は「これからは原子力の時代」と語ったが、このような世界が展開されることを予想した人はいたのだろうか。歴史の法則どおり動いたから、このような世界になったのだろうか。

生があるから死があるのか。それとも、死があるから生があるのか。それは、オレには判らない。だが、この地球上における万物には、生があれば、必ず死があることだけはたしかだ。人間界においては、金持にも、貧乏人にも平等に死は訪れる。

人間の醜い、飽くことなき欲望によって築き上げられた権力の座に在る者——富と名声と権力を握った者——でさえも、死は不可避のことである。これは、大自然の法則である。

人間の生命は、全地球より重い、と言った裁判官がいる。至言である。けれども現実には、権力を握った者が全く無力の個人の生命を平然と容赦なく奪っている。人間はそれでも生きなければならぬ。生きる権利がある。何人もその権利を奪うことはできない。

一面のイラストは、電業・無我利道場の山田現也さんにお預かりした。山田さんは同封の手紙で「明日出版に出るので大急ぎで描きま

で描くしかありませんでした」とかいてる。聞くところによると、昨年は大急ぎで描いたものの、八二年の奮闘を祈る、(W)

編集一言

一面のイラストは、電業・無我利道場の山田現也さんにお預かりした。山田さんは同封の手紙で「明日出版に出るので大急ぎで描きま

もの言わぬ若者の自己主張



中学時代の同窓生のH君と偶然出

あつて話をした。彼はある会社の管理職で、新しく入社してくる技術者のための「オン・ザ・ジョブ・トレーニング」と呼ばれる現場教育を担当している。

「しかし、実際の仕事の中心は学級担任みたいなものでね」と彼は言っている。生活指導が主だ。若い人達はまだ集団生活がだめで、社会生活上必要なイロハも知らない。それを教えるんだが、まるで反応がない。それがどういいう意味をもっているのか、仕事の前後関係はどうなっているのか、考えようとしななんだね。だから「疑問をもて」と彼らに言うんだが、「ボクには関係ない」という態度だ。

「組合運動よりも前に、人間社会の構成員としての常識からひとつひとつ

若者どうしてはそれでも仲間意識がうらやましいかと思ってしまう。この現象の是非を論ずるより前に、現実に変化がおこりつつあることをもつと詳しく見て、何故そうなるかを考えてみることは興味深い。現在いわれている教育の右翼的改革の力もこのあたりにあるように思われる。い

代日本が初めて経験する大変動ではないか。この現象の是非を論ずるより前に、現実に変化がおこりつつあることをもつと詳しく見て、何故そうなるかを考えてみることは興味深い。現在いわれている教育の右翼的改革の力もこのあたりにあるように思われる。い

「創刊号」残部僅少(定価七〇〇円) 定価八〇〇円

発行所 現代理論社

東京中央郵便局 社務部1786号/振替 東京4-3244
口座番号 第一勧業銀行057 1334127
「地方小出版流通センター」取扱い

ルポ・原発列島

●剣持一巳著

日本全国、北は北海道の岩内から南は鹿児島島の川内まで、すべての原発建設地・予定地を歩いた著者が、そこでたまたかしながら漁業や農業を営んだり、働き生活する人々の真実の言葉に出会う。それらの人々の考え方を通して現代文明の歪みを見事に描いたルポルタージュである。 四六判上製392頁 定価2000円

戦火・自由そして死

●池原征夫著

混濁化するカンボジア情勢。フリー・ジャーナリストの著者はタイ国境のカンボジア難民村でボランティアとして働き、再びカンボジア難民村の撮影隊として難民村に入り、カンボジア解放区でキュー・サンバンリアンと会見する。だが、帰国後慢性マラリアで36才の若さで急死する。 四六判上製260頁 定価1700円

技術と人間 予162 新宿区神楽坂3-6-12 TEL. 260-9321 振替東京7-192694

マルクス・レーニン主義研究

2号

- ★過渡期世界のマルクス・レーニン主義 共産主義者同盟(中国) 日本共産党(革命左派)
- ★国際・国内情勢と我々の任務(中) 社会帝国主義の把握と「三つの世界論」 共産主義者同盟(全国委) マルクス・レーニン主義派 葉山 薫
- ★三つの世界論を擁護し毛沢東思想に対する反動攻撃を打ち破ろう 人民解放闘争委員会 遠野 広
- ★プロレタリア独裁思想を堅持しよう プロレタリア文化大革命の総括 洛北学習会

発行所 現代理論社